

受験番号

令和8年度熊本大学大学院社会文化科学教育部
博士前期課程一般入試 入学試験問題（第一期募集）

専門科目（刑事政策）問題用紙

法政・紛争解決学 専攻

法・公共政策実践 コース

注意事項

1. 試験開始時間までは次頁以降を見てはいけません。
2. 試験開始の合図の後、直ちに表紙、問題用紙および解答用紙に受験番号を記入してください。
3. 問題用紙が1枚、解答用紙が2枚、下書き用紙が1枚ありますので、開始の合図の後、乱丁や落丁がないかどうか確かめてください。
もしあれば、手を挙げて監督者に知らせてください。
解答用紙の追加はしません。
4. 配付した用紙は、すべて持ち帰ってはいけません。
5. 試験時間終了まで退室はできません。

令和8年度熊本大学大学院社会文化科学教育部
博士前期課程一般入試 入学試験問題（第一期募集）

専門科目 問題用紙（全1枚中の1枚目）

受験番号

問題

刑事収容施設及び被収容者等の処遇に関する法律第85条第3項には、刑事施設の長は、法務省令で定める受刑者について、被害者等から、被害に関する心情、被害者等の置かれている状況又は当該受刑者の生活及び行動に関する意見（以下この節において「心情等」という。）を述べたい旨の申出があったときは、法務省令で定めるところにより、当該心情等を聴取するものとする定められている。

これを受けて、同法第103条第4項では、刑事施設の長は、法務省令で定めるところにより、被害者等から、第85条第3項の規定により聴取した心情等を受刑者に伝達することを希望する旨の申出があったときは、第一項の指導を行うに当たり、当該心情等を受刑者に伝達するものとする定められ、いわゆる被害者等心情伝達制度が実施されている。

この被害者等心情伝達制度に求められる刑事政策的意義と、被害者等心情伝達制度が直面しうる課題を踏まえて、その課題を解決する方策について論じてください。

受験番号

--

(下書き用紙)